

事業者名：株式会社エクシング

事業名：音声対話ツールを活用した高齢者の ICT アクセシビリティの向上

サービス概要 (イメージ)



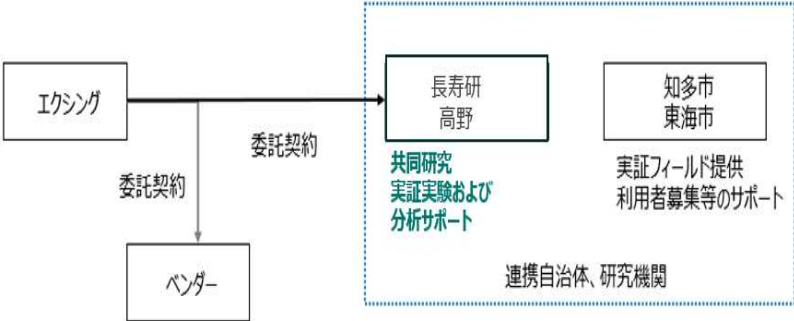
高齢者に優しい「音声対話型UI」

- 当社タブレット向けアプリ「健康王国DX」へ実装、および愛知県のプラットフォーム上のBtoB、およびBtoC向けサービスとしての展開を想定。
- 最終的には他社サービスへの展開も実現し、音声対話型UIの導入により、高齢者が自然な対話を通して、各種ICTサービスにアクセスできるようなること目指す。
- 例えば、自宅で一人暮らしをしている高齢者が、自身で孫とのビデオ通話を設定したり、Onlineでの趣味活動、地域のお祭りや健康支援情報を収集したり、主体的に情報を発信できるようにする。

連携団体を含む、実証の座組

事業推進体制

【体制図／役割分担など図示】



	名称	役割
1	株式会社エクシング	・ PJ主幹。アプリ・コンテンツ開発
2	ベンダー	・ 音声対話型UIの一部開発をお願いするベンダー
3	国立長寿医療研究センター	・ 音声対話システムのコンセプトの策定 ・ 医学的視点からの助言 ・ ヒトを対象とした実証実験の指揮監修及び実施
4	知多市	・ 実証フィールドの提供 ・ PoC参加者の募集、運営のサポートなど
5	東海市	・ 実証フィールドの提供 ・ PoC参加者の募集、運営のサポートなど

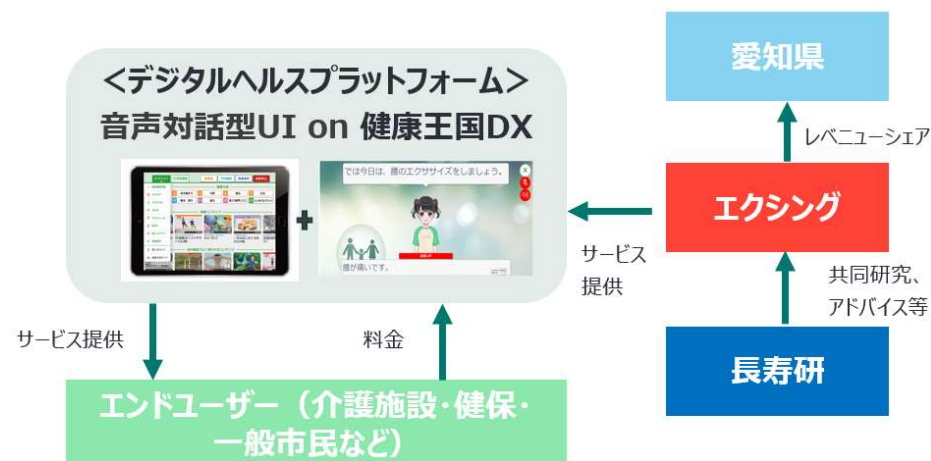
1

事業者名：株式会社エクシング

事業名：音声対話ツールを活用した高齢者の ICT アクセシビリティの向上」

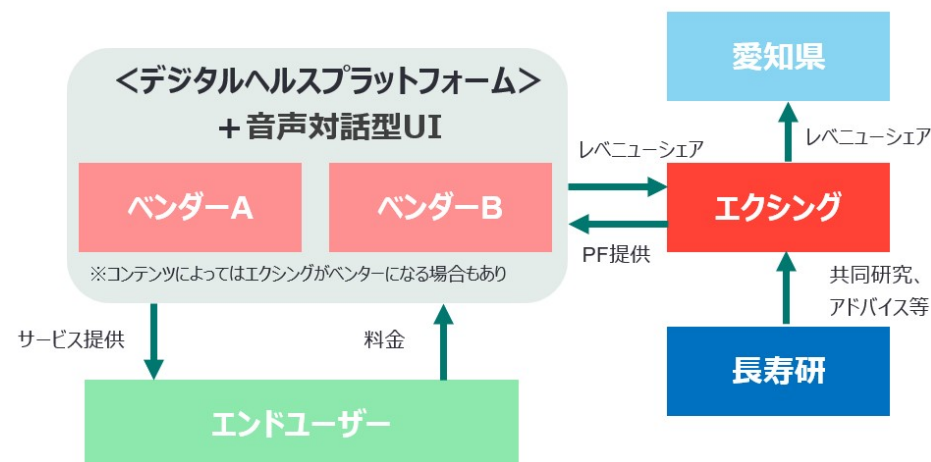
社会実装時の事業モデル

【収支モデルの作成（交付金終了時の社会実装イメージ フェーズ1）】



介護施設向けの提供は、従前のアプリをVer-UPし、XING営業部隊による商流を活用して販売予定

【収支モデルの作成（交付金終了時の社会実装イメージ フェーズ2）】



1stフェーズで汎用ロジックを確立できた段階で、他社へのPF提供を実現予定

今年度の実証項目（昨年度の実証成果含）

<24年度の実証結果における改善ポイントをふまえ新規プロダクトを開発>

- ・対象者の生活リズムに即した対話速度や応答性の調整：スムーズでテンポの良い会話体験が重要
- ・安心感と親しみやすさを重視した対話設計：高齢者が自然に感じられる言葉遣いや話し方を採用
- ・初心者でも簡単に慣れられるサポート機能：初めての使用時にガイドを導入するなど、学習コストを下げる設計
- ・生活の質を向上させる具体的な機能：料理指導や健康アドバイスなど、日常生活に密着した機能を強化
- ・デザインと操作性の改良：タイミングや使い方を示すインターフェースの改良

<25年度の実施内容とスケジュール>

1.24年度に実施した2回目実証（FS）の結果検証

- ↳25年4月中に実施予定
- ↳ここでの改善事項も本年度の開発へFB

2.プロダクトの改善

- ↳音声対話型UIのプロトタイプを新規開発（24年度は現存プロダクトの調整で実証を実施）
- ↳24年度の改善点を踏襲したプロダクトを開発
- ↳デバイスは24年度同様、PCからのTV投影+USBマイクによる音声入力を想定

3.プロトタイプを使った実証実験実施によるFBの取得

- ↳知多市・東海市様の市民様によるプロトタイプの体験会を実施【長寿研と共にエンドユーザーに対するユーザビリティ調査(UX調査)を実施する】
- ↳UX調査結果よりプロトタイプの修正を行う
- ↳長寿研様のサポートの下、実証の準備・実施、データ分析を実施

スケジュール：25年8月中旬にプロトタイプを開発し、9月以降で実証実験を実施予定

<主なKPI>

- ・STTの認識率：94%（24年度90%）
- ・対話内容の評価：TAM・UEQ・構造化インタビューによるユーザーの満足度60%（24年度は40%以下）
- ・音声対話型UIのUX：TAMスコア：前年度より15%改善、UEQスコア：前年度より0.5改善（24年度は・TAMスコア中央値平均割合：35.9%（特に効率性に課題あり）UEQスコア：明快さ：0.587、効率0.92に課題、ノベルティ0.441に課題あり